



大学入学共通テストって何？

共通テストでは、「思考力を測る」という出題方針があるので、「日常の出来事をテーマにした出題」や「2つ以上の資料を読み解く問題」が出題され、問題文が長いのが特徴です。ただ「高校の教科書を基礎とし、特定の事項や分野にかたよらないようにする」という点は従来行われていたセンター試験と変わりません。問題文が長くなるなどの共通テストへの慣れは3年になると必要になりますが、日々の授業での学びを大切に、まずは基礎となる教科書を理解して、しっかりとした土台を築くことが何よりも重要です。77期生の皆さんは、「情報I」「歴史総合」なども国公立大私立大とも受験科目になります。74期大学生チューター早稲田大学のK. M. さんの言葉です。「まずは12年生で学ぶことは受験の基礎なので、しっかり取り組んでください。12年生の時に基礎が完成していれば、受験勉強もスムーズです。」

学びたい意欲、進学希望を経済的に応援する制度！

国公立大学の初年度納付金（入学金、授業料など入学手続き時に支払う費用は、約82万円、私立大学は文系115万円以上、理系140万円以上です。経済的な理由で進学をあきらめることがないよう、国が修学を支援する新制度が、2020年4月からスタートしました（右の表参照）。

この制度は、学ぶ意欲のある生徒が、家庭の経済事情に左右されず、大学などの高等教育機関で学んで、社会で自立して活躍できるように経済的にバックアップを行うものです。

また国公立大学では、収入に応じて授業料減免制度があり、私立大学を中心に授業料が一部または全額免除される「スカラシップ入試」や「特待生入試」も増えています。

	国公立		私立	
	授業料	入学金	授業料	入学金
大学	54万円	28万円	70万円	26万円
短期大学	39万円	17万円	62万円	25万円
高等専門学校	23万円	8万円	70万円	13万円
専門学校	17万円	7万円	59万円	16万円
	自宅生		自宅外生	
	国公立	私立	国公立	私立
大学・短大・専門学校 (高専は今後検討)	35万円	46万円	80万円	91万円
世帯年収	支援額			
① 住民税非課税世帯 (年収270万円未満)	全額支援			
② 年収270万～300万円未満	非課税世帯の3分の2を支援			
③ 年収300万～380万円未満	非課税世帯の3分の1を支援			

12年のみなさん、7月進研模試はどうでしたか？

1年生のみなさんは、高校で初めての全国模試です。2年生のみなさんは、1年生と2年の1学期の勉強の成果を発揮する校内模試になります。進研模試は定期考査と違い、全国の大学受験を目指す高校生約50万人以上が受験する全国大会のようなものです。

「理想の模試受験パターン」

- ①各教科ごとに目標設定
- ②受験後当日の自己採点&各教科ごとの振り返り
- ③返却時の各教科ごとの復習&振り返り

模試は定期考査と違い、自分の弱点教科と弱点分野を見つけるための試験です。弱点を放置しておく、大きな穴になってしまいます。模試ごとに丁寧に復習して補強していく地道さが、皆さんを大きく成長させます。

模試は授業と同じ学習活動であり、「上高の進路指導の一環です。」集中して解くことが



重要です。

3年生になるまで、進研模試デジタルサービス等も活用しながら「理想の模試受験パターン」を実行していきましょう。

次の模擬試験の日程は、11月ベネッセ進研模試です。毎日の学習や定期考査に真剣に取り組みながら、学習の全国大会＝模試に挑戦していきましょう。

12年のみなさん、目標を高く自分の個性を生かそう？

1年生のみなさんは、高校生活に慣れてきましたか？高校の勉強は中学校と違い、予習や復習をする必要があり、課題も多いです。

最初に高校の勉強パターンに慣れていきましょう。そうすれば、成績は向上して行くと思います。「中学校の時は、予習しなかった」とか「中学の時は、小テストの勉強しなかった」などと中学校を引きずるのは、まだ高校生になりきれていません。高校は部活動や行事と両立する必要もあるので、すき間の時間をうまく使しましょう。そして学校がある日も3時間目標に学習時間が確保できるように、家庭学習の定着もしっかりと図っていきましょう。

2年生のみなさんは、2年生としての学習態度や生活態度について自覚はできていますでしょうか？学校行事、部活動等すべてにおいて核となって活躍するのが2学年です。勉強も難しくなります。第一志望校も是非今年中に決定しましょう。目標＝ゴールから逆算して今何をしなければならぬか考えて日々を過ごすことが大事です。

大学入試共通テストの内容は12年生で学ぶことがほとんどです。2年生を「中だるみ」ではなく「中励み」になるように生活のリズムを作っていくてください。そして学校がある日も3時間以上学習時間が確保できるように、家庭学習の定着もしっかりと図っていきましょう。

12年のうちに+αで自分が興味のわく教科を深めてみることもおすすめします。

12年生の皆さんは、「総合的な探究の時間」をうまくつかいながら、上野高校の校訓の「自主」の精神で、自分から探究したり、発展的に調べたりすることはとても大事です。本を複数読んだり、調査をした結果を研究レポートにまとめる等の経験がポートフォリオとして蓄積され、大学での学部・学科選びや推薦入試にもつながります。

「特別支援の教育に興味があり、ボランティアをしたり、特別支援教育についての本もいくつか読んで、志望大学を選びました。」(74期 東京学芸大学 K. Nさん)

「自然が大好きで、環境や食についてのネットの記事や本を読んでいく内に農学を学びたいと思いました。」(74期 茨城大学農学部 T. D君)

12年の皆さん、何のために大学に行くのでしょうか？「自分の将来のため」「結婚して家庭をつくるため」「自立した生活を送るため」などでしょうか。でもそれだけでは少し寂しい気がします。

「自主協調・叡智健康」の精神のもと、日々自分を成長させている上高生のみなさんです。大学に行く目的は「世の中の人々の役に立つ」ために、「自分に与えられた個性を磨き」、「自分を高める」ためにあるのではないのでしょうか？

それは、みなさんが自分や身近な家族の幸せのためだけでなく、将来出会うであろう友人や恋人やたくさんの仲間たちのため、東京、日本、そして世界をより良くしていくために学ぶということも意味します。

みなさんの素晴らしい個性を生かし、コロナを克服した後の新しい社会を切りひらいて



いく可能性を信じて学んでいきましょう。

大学訪問 筑波大学を訪れて

今回の大学訪問は筑波大学です。筑波大学は、首都圏では東大、千葉大、都立大、横浜国立大、埼玉大と同様の名門総合大学です。筑波大では学部は学群と呼ばれ、人文・文化学群・社会・国際学群・人間学群・生命環境学群・理工学群・情報学群・医学群・体育専門学群・芸術専門学群と素晴らしい充実ぶりです。74期生は2名、73期生は3名合格者を出しています。なお浪人生になりますが、筑波大の医学部にも今年合格者が出ました。

【筑波大学のアピールポイント】

①自然があふれ、緑豊かな広大なキャンパス！

上野高校を出発して、上野から山手線で秋葉原に行き、つくばエクスプレスで50分で到着しました。そこからバスで10分で筑波キャンパスに到着します。

上野高校から所要時間は90分。アクセスは意外と楽です。

筑波キャンパスは、学園東大通りと学園西大通りにはさまれて位置し、5つの地区に分かれています。とにかく広大ですが、遠くに見える筑波山やループ道路沿いの並木、どこまでも続く遊歩道・自転車道（ペデと言われるそうです）など、海外の大学のように。キャンパスの美しさでは、日本でも5本の指に入ります。

②筑波大は国際的、留学プログラムが充実！

筑波大学は、カリフォルニア州立大学、モンテリオール大学、マンチェスター大学、北京大学など338の大学と国際交流協定を締結し、この協定に基づいて交換留学が行われているそうです。留学時の経済面をサポートする奨学金を複数設け、最高で20万円の支援が受けられます。

③研究レベルは高く、就職は抜群！

筑波大学には様々な研究施設があり、自由な雰囲気の中で、世界的なレベルの研究が行われています。就職も素晴らしく、民間企業だけでなく、公務員や教員になるためのサポートが完璧です。研究職や高度な専門職につく卒業生も少なくありません。また奨学金制度も充実しており、授業料減免制度も用意されています。

【筑波大学に合格するには】

筑波大一般入試の特徴は、総合選抜と一般選抜があることです。

①総合選抜：総合選抜は入学時に学部学科を決めないで、入学後の1年間は英語や外国語、情報・体育などの基礎科目だけでなく、様々な分野の入門科目を学び、1年生の終わりに本人の志望と成績に基づいて2年生以降に所属する学部学科を決めます。

「まだ何を勉強するか決めていない」「研究してみたいことはあるけど、学類は入学してから決めたい」という人には最適です。受験科目は、共通テストが5教科7科目（文系は5教科8科目）の普通のパターンが基本になります。

2次試験は3教科で、私立との併願も可能です。文系は、英語・国語が必須で、地歴公民・数学ⅠⅡABから1科目選択、理系（配点によってⅠⅡⅢに分かれる）は英語・数学ⅠⅡⅢABが必須で、理科2科目選択です。

②一般選抜：一般選抜は学群ごとに科目の配点が定められており、基本は共通テストが5教科7科目（文系は5教科8科目）で、2次試験がそれぞれの学群で定められているので、ホームページや要項等で確認しましょう。他の国公立大に比べて、科目の負担が少ない学群があったりするので、必ず確認して下さい。また77期生の皆さんが受験する新課程入試の受験科目は近日中に発表予定です。



他の国立大に比べて、私立大との併願がしやすいのも、筑波大の特徴です。

③学校推薦・総合型選抜 また学校推薦型入試・や特色のある入試も行っているのので、調べてみるとチャンスが増えると思います。推薦では、成績優秀（3年間で4.3以上）かつ自分が進学したい学部学科の分野で優れた能力や研究を行ったり、国際的な課題をテーマに探究・研究活動を行った生徒が条件になります。

筑波大学理工学群 応用理工学類 応用理工学類

74期生 S.T君

Q 志望校決定はどのように決定しましたか？

A 国公立大の理工学部に行きたいと思っていましたが、筑波大に実際に行って見て、広々としたキャンパスに感動しました。ここなら自由な雰囲気の中で、自分が研究したいことを学べると思いました。12年の皆さんは、是非夏休みなど時間のある今のうちにオープンキャンパスに行ってみて、行きたい大学を見つけることをお勧めします。

Q 筑波大に合格するためにどんな勉強を12年の時にしましたか？

A サッカー部に所属して忙しかったので、毎日やるべき事を簡単な計画にして集中力を高めました。塾とかは行ってなかったので、授業や定期テスト・小テストを大事にしました。それと12年生のうちから模試に向けての目標設定・準備をして、受験後は復習する習慣化だけはしておいたほうがよいです。

Q 後輩の12年生にメッセージをお願いします。

A 英数国は積み重ねの教科なので、1年からしっかりと勉強しておいた方がよいです。私は理系でしたが、共通テストは問題文も長く読解力重視なので、国語も大事です。大学調べや大学見学もやっておきましょう。自分はそこが不十分で3年でメチャクチャあせりました。12年のうちに志望校と勉強したい分野が決まっていれば、とても有利です。今は「探究」もあるようなので、文理選択や志望分野決定に役立てればよいですね。

「1年定期考査での失敗」

～東京大学文科三類合格 66期生 K.Hさん～

今でこそ東大に合格（今は東大大学院に進学）し、後輩の皆さんへ体験談を書いている僕ですが、実は1年の1学期の定期考査はひどい成績を取ってしまい、進級も危ないと担任の先生に真剣に心配されたほどでした。ちなみに高1の1学期の10段階評価は、コミュニケーション英語で2、情報と英語表現で3というひどい成績でした。

ちょうどその頃、知り合いの人が東大を受けて落ちたことがきっかけで、「あの人に来なかったからといって自分に出来ないというわけではない。」と考え東大に興味を持ち始めました。

その時から自分は変わりました。英語や古典など予習が必要な教科はしっかり行い、毎回の授業を集中して聞き、できるだけその日のうちに復習しました。特に数学など復習が大事な教科はしっかりやりました。社会や理科などは板書されない先生の余談などもすべてノートにメモし、その日の授業を頭の中で再現していました。このやり方をずっと継続した結果成績は急上昇していったのです。受験は3年間の積み重ねです、小テストや定期考査、宿題なども学力がつき、どんな大学（進路）でも行けるように役に立つものと意識すれば、まじめに取り組めます（実際その通りです！）。

上高生は頭のいい人がかなり多く、一所懸命に勉強すれば、どんな大学でも合格する可能性があると思います。特に国公立大は学費が安く、設備も充実しているので、是非目標にしてください。今回定期テストがよかった人も悪かった人も、これからが大事です！

